



初任科第 94 期 日進月歩

静岡県消防学校 初任科だより vol. 4

～水難救助訓練～

入校から4か月が過ぎ、本格的な夏を迎えました。体育の授業では全員で清掃活動を行ったプールを使用し、基本泳法、スキンドайビング及び応急救助法を学びました。

基本泳法では、入水法、着衣泳法、着衣を利用した浮力の確保などを教えていただきました。スキンドайビングでは、シュノーケルの使い方、耳抜きを学んだ後、実際に潜水し、各々が行けるところまで潜水を行いました。応急救助法では溺れている人の水面救助法や水難救助資機材の使い方を学びました。

水泳が苦手な学生もいましたが、バディを組み、安全管理を万全にした状態で訓練に臨みました。水難救助隊員を目指している学生も多いため、実際の水難救助法を学ぶ良い機会になりました。今回学んだ知識と技術を忘れずに現場活動に生かしたいです。

～実務研修～

7月10日から14日までの5日間、各所属で実務研修が行われました。実際に消防署で毎日勤務や当直勤務を行う中で現場の雰囲気につき、消防士になったことを実感した反面、まだ自分は何もできないという無力さを自覚しました。どの所属においても出動指令が入ると張り詰めた雰囲気となり、いち早く現場に到着するために迅速な出動準備が行われていました。自分たちは防火衣を着装するのに時間がかかってしまい、今のままでは現場に出ることはできないと痛感しました。

所属に戻るまで残り2か月しかないため焦りを感じている学生も多く、訓練に臨む姿勢が変わりました。研修では消防学校で既に学んだ三連梯子を使用した訓練、基本的な放水技術やホースの取扱い訓練を行った所属が多くありましたが、消防学校で行う訓練方法や雰囲気とは大きく異なり、今まで以上に現場を意識して訓練をすることが大切だと感じました。一人前の消防士になれるように実務研修で学んだことの全てを糧として成長していきたいです。



(スキンドайビング)



(着衣泳法)

発行日：令和5年8月31日

発行元：静岡県消防学校

制作：静岡県消防学校 初任科第94期 文化委員

芹澤 智（静岡）、福岡 陸生（駿東）